

Day 1: Weird and Wonderful Britain



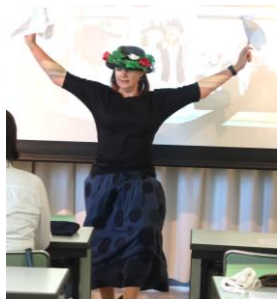
日時：平成30年7月10日（火） 10:00~12:00

講師：福留 アンジェラ

内容：イギリスの伝統文化をひと月毎にまとめ、日本であまり知られていない飲み物や食べ物、お祭りや習慣などを紹介していただきました。

イースター前の断食に備えバターや砂糖、卵などを使い切るPancake Tuesday^{パンケーキ チューズデイ}や、母の日の起源であるMothering Sunday^{マザーリング サンデイ}に食べるSimnel Cake^{シムネル ケーキ}のお話などから、イギリス人が古くからの伝統をととても大切にしていることがわかりました。また、女王の誕生日を祝い、衛兵がパレードをするTrooping the Colour^{トルーピングザカラー}という行事はとても人気があり、チケットがなかなか取れないそうで、王室が多くの人に愛されていることが伝わりました。

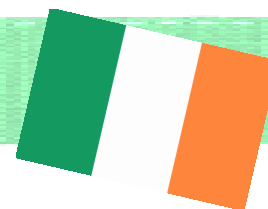
テレビ番組「世界の果てまでイッテQ」で紹介された、Cheese Rolling^{チーズローリング}と言うお祭りの詳しい説明や、日本人に馴染みのあるハロウィンやクリスマスの元々の意味は興味深く、多くの受講者が聞き入りました。また、途中で披露したMorris Dance^{モリスダンス}(イギリスのフォークダンス)に、場も盛り上がりました。



参加者の声：

- ・イギリスの伝統文化やイベントについて、初めて知ることも多く大変勉強になった。
- ・アンジェラさんの英語はとても聞き取りやすく、楽しめた。
- ・とても楽しくわかりやすかった。

Day 2: Irish Culture and Customs



日時：平成30年7月18日（水） 10:00~12:00

講師：ジェラディン・マクラハン

内容：アイルランドを形成する四つの地方や、伝統文化、豊かな自然について、アイルランド語の説明や歌、楽器の紹介なども交えて、講義をしていただきました。

アイルランドでは歌やダンスが暮らしの中に息づいていて、学校では昔ながらの楽器やダンスを教わるということです。伝統的な Irish Music は老若男女に愛されていてポップスに取り入れられることもあり、アイリッシュミュージシャンはイギリスの有名バンドを上回るほど人気だそうです。また、リズムを大切にしたり俳句のような詩もあり、国民は皆詩が好きで、現大統領も詩人なのだそうです。

気候は年中穏やかですが、風が強い日には傘は全く役に立たない程なので、レインコートが必需品ということです。6月は日没が23:30頃なので、人口の40%は30歳未満という“若い国”のアイルランドの人々は、パブなどでビールを飲んで長い一日を楽しむそうです。Traditional（伝統的なもの）とModern（現代的なもの）の融合が垣間見られるアイルランドの文化は魅力的で、多くの方が熱心に受講されていました。



参加者の声：

- ・あまり馴染みのない国について学ぶことが出来た。
- ・音楽とダンスの映像が楽しかった。

Day 3: "Our Home and Native Land"

An introduction to the Geography of Canada



日時：平成30年7月24日（火） 10:00~12:00

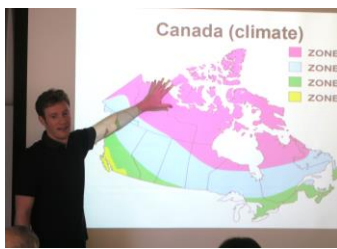
講師：イアン・イウス

内容：“Geography makes culture”（地理が文化を形成する）というテーマで、カナダの各地方の地理（地形や気候）を説明しながら、特産物や人気スポーツなどを紹介してくださいました。広大な国土は、冬に-50℃に達するところがある一方、砂漠地帯も存在し、ひとつの国でありながら様々な気候に分かれていることがわかりました。

有名なメイプルシロップは限られた気候条件でしか採れないことや、その濃さなどによってグレードがあることを教えてくださいました。広い牧草地で伸び伸びと育ったアルバータ牛、寒暖の差を活かして作る希少価値の高いアイスワインなどは、カナダ自慢の特産物ということです。

スキーやアイスホッケーなど冬のスポーツが有名なカナダですが、夏には釣り、ハイキング、自転車などたくさんのアクティビティーも楽しめるそうです。

ところどころでイアン先生自身が撮影したカナダの風景の動画を見せてくださり、その都市の魅力や地形の特徴などが視覚、聴覚からも良く伝わって、カナダにすぐにでも行ってみたいくなるような魅力的な時間でした。



参加者の声：

- 多様なカナダの文化を学ぶことが出来た。
- 知らないことばかりで、カナダの事情がよくわかった。
- 先生が撮った素敵な映像を見て、またカナダに行きたくなった。

Day 4: A Historical Tour of the U.K. Learning about British history through some of its famous sights



日時：平成30年7月31日（火） 10:00~12:00

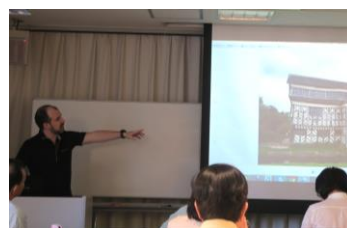
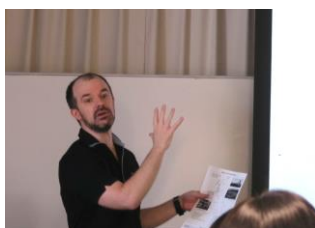
講師：ジャック・ハンキンズ

内容：イギリスの長い歴史を四つの時代に分けて、ストーンヘンジ、城、教会などについて詳しく講義してくださいました。世界的に有名なストーンヘンジの他に、イギリスにはたくさんのストーンサークルがあり、様々な形をしたものや、巨大な一枚の絵に見えるものなどがあることがわかりました。

ノルマン朝の城は主に戦いの為のものでしたが、340年程続いたプランタジネット朝の中で、居住の目的も持つようになったそうです。

テューダー朝には有名な王妃アン・ブーリンがいて、この時代に、シェイクスピア劇が多く上演された劇場もでき、現在も使われているとのこと。産業革命の時代に造られたグレンフィナン高架橋は、ハリーポッターの撮影地として有名で、遺産と現代文化がつながっている一面も紹介されました。

古代イギリスはケルト民族による国家でしたが、ローマ帝国、フランス、デンマーク、ドイツなどの国が入植したり侵略したりした為、様々な民族と文化が合わさり、長い時を経て現在のイギリスを形成しているそうです。大変内容の濃い講義に、受講者の皆さんは真剣に耳を傾けていらっしゃいました。



参加者の声：

- 知らないことがたくさんあったので、興味深かった。
- イギリスの歴史を詳しく説明していただいてよくわかった。
- とても楽しい内容。充実していて、イギリスの世界観が知れた。